スポーツ健康学科教育方針とカリキュラムモデル

労働衛生学概論 労働法規 I·I 教職科目 ①豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。②基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの 健康相談活動の理論及び方法 考えを多様な方法で表現できること。③スポーツ健康学科の特徴を正し〈理解し、高等学校教育における教科を全般的に修得しているこし。また、スポーツ健康科学に必要な保健および体育の内 容について基礎的・基本的な知識および技能を身につけていることが望ましい。④健康を科学的視点から探究し、地域社会や国際社会において健康づくりを支援する意欲があること。⑤スポーツ 科学や健康科学に興味・闘心があり、大学においても習慣的な運動や健康づくりの意欲があること。 養護教諭 健康運動指導士 健康運動実践指導者第一種衛生管理者 社会福祉主事任用資格 (養護) ①~⑤の能力を身につけた学生に学位を握与する。 も 減し エルネスプロジェク **預発見・設定し、解決する力。わかりやすく表現す**・ 養護概説 学校救急看護 レクリエーション実技 薬理概論 障害者·高齢者福祉 社会福祉援助技術 病理学 スポーツ健康学特別講義、 スポーツ健康学特別実技 医学一般口 養護実習(養護) インターソンシル 1・1 <u>共通コア科目</u>(アカデミックスキル・ライフデザイン・思想と倫理・沖縄理解・健康スポーツ) 免疫学 グローバルヘルス 取得可能資格 精神保健 散生物驴 運動負荷試験 運動処方論 看護臨床実習 I・I レジャー・レクリエーション舗 ウェルネス概論 人体機能学 健康心理学 共通選択科目(外国語·国際理解·人文科学·社会科学·自然科学) 看護学] ①高い倫理観と幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能 ②探求し続けるための生涯学習力 ③謀 発育発達学 看護学工 健康産業施設等現場実習 スポーツ障害と予防 栄養学 社会福祉概論 衛生学·公衆衛生学演習 ④協働して問題解決するためのチームワークやリーダーシップ (⑤自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力) 生理学•運動生理学 心の健康 スポーツバイオメカニクス スポーツ健康学 学校保健 スポーツ健康演習 野外教育論 専門基礎科目 卒業研究演習皿-IV 卒業研究演習 I·I スポーツ健康学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。 スポージ栄養学 圆 体育心理学 体育社会学 コーチ トレーニング端 解剖学 生涯スポーツ論 生理学·運動生理学演: 衛生学·公衆衛生学 スポーツ心理学演習 スポーツ健康学総論 安全管理論および方法 医学 一般 スポーツ指導論 救急処置 海洋スポーツ演習 動作学演習 日本スポーツ協会指導者資格 JATI ゴルフI・エ スポーツマネジメント 体力・健康測定と評価 エアロビクス I・I こうドボート 卓装 シレトボール 全学教養科目 トレーニング 溜減 習 全学教養科目 陸上競技 水泳 スポーツ値域 教育実習(保健体育) ベスケシャボーア ベフーボーフ サッセー スポーシ虫 運動学 体育原理 琉球舞踊 器械運動 取得可能資格保健体育教員 球技論 コーチング演習 空手・古武道概論 舞踊 本つくり運動 (保健体育) 딺 教職科目 能力を活用して卒業研究をまとめ、ディプロマ・ポリシーで示された能 によった始われた 剣道 つ、行動を 柔道 東支援人材としての使 実践的な学びを通して、 人間を多角的に理解し、 体育・スポーツ、健康の アドミション・ポリツー を身に 力を最大限に高める 幅広い 教養と社会性を身に 2年前期に領域選択 ナイプロマ・ボジツ 2年後期にゼミ選択 (入学者受入の方針) (学位長与の方針) これまでの学権 大学生として 3年次の目標 2年次の目標 1年次の目標 4年次の目制 基礎知識 クラス制 が三部 5 T